

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育の心理学Ⅱ		教員氏名	平沼 晶子
学年	1年		開講学期	後期
授業形態	演習		単位数	1単位
必修・選択	保育士必修			
テーマ	保育場面において、子どもの心身の発達を促す援助について理解を深める。			
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。			○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。			
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する		○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う		
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける		
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う		
授業の概要	子どもたちは生活や遊びのなかで、さまざまな経験をしながら成長していく。保育の心理学Ⅰでは、これらの経験が発達や学習とどのような関わりをもつのかについて学んだ。本科目では、保育の心理学Ⅰで得た知見に基づいて、子どもの発達を促す保育者の関わりについて実践的に考える。授業では、グループワークやプレゼンテーションを多く取り入れ、意見交換をしながら理解を深めていく。			
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の場で育まれる子どもの心身の発達を理解する。 2. 生活と遊びを通しての経験が、子どもの発達や学習を促進していく過程を理解する。 3. 子どもの発達に応じた支援について、実践的に考えられるようになる。 			
テキスト	青木紀久代・矢野由佳子編『子どもとかかわる力を培う 実践・発達心理学ワークブック』みらい			
参考書	授業内で適宜紹介する。			
	授業中にプリントを配布する			
ポートフォリオ	授業内で指示する。			
課題の確認と 成績評価方法	中間課題(20%)、発表(20%)、期末課題(30%)、授業に取り組む姿勢(30%)			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション(授業概要・授業の進め方と注意事項) 保育の心理学Ⅰの振り返り
	授業外指示	<予習>保育の心理学Ⅰで学んだ内容を見直す。 <復習>テキスト全体を見て、本授業の学習課題を理解する。
第2回	テーマ 内容	発達と保育実践(1) 言葉の発達、言葉の発達を促す大人の関わりについてのグループワーク
	授業外指示	<予習>教科書のpp.10～13を読む。 <復習>赤ちゃんとの関わりで大切なことをまとめる。
第3回	テーマ 内容	発達と保育実践(2) 仲間関係の発達、思いやりを育むための保育者の関わりについてのグループワーク
	授業外指示	<予習>教科書のpp.20～23を読む。 <復習>子ども同士のいざこざへの対応について気づいた点をまとめる。
第4回	テーマ 内容	発達と保育実践(3) 自己主張と自己抑制
	授業外指示	<予習>教科書のpp.30～33を読む。 <復習>自己主張と自己抑制がどのような意味をもつのかについてまとめる。
第5回	テーマ 内容	発達と保育実践(4) 社会性と情緒の発達、親子分離が難しいケースについてのグループワーク
	授業外指示	<予習>教科書のpp.38～43を読む。 <復習>子どもの社会性の発達について学んだことをまとめる。
第6回	テーマ 内容	生活を通した遊び(1) 知的発達
	授業外指示	<予習>教科書のpp.50～51を読む。 <復習>遊びを通して知的発達がどのように促されるかのかについてまとめる。
第7回	テーマ 内容	生活を通した遊び(2) 学習理論 中間課題の説明
	授業外指示	<予習>教科書のpp.56～57を読む。 <復習>日常生活場面を観察して、中間課題の準備を進める。
第8回	テーマ 内容	生活を通した遊び(3) 身辺自立と自己決定
	授業外指示	<予習>教科書のpp.62～63を読む。 <復習>日常生活場面での子どもの姿を観察して、中間課題の準備を進める。
第9回	テーマ 内容	中間課題:プレゼンテーション「子ども観察による発達の考察」(1)
	授業外指示	<予習>プレゼンテーションの準備をする。 <復習>プレゼンテーションを聞いた感想をまとめる。

第10回	テーマ 内容	中間課題:プレゼンテーション「子ども観察による発達の考察」(2)
	授業外指示	<予習>プレゼンテーションの準備をする。 <復習>プレゼンテーションを聞いた感想をまとめる。
第11回	テーマ 内容	保育における発達援助(1) 子どもの個人差に配慮した保育
	授業外指示	<予習>教科書のpp.70~71を読む。 <復習>障がいを持つ子どもへの関わりについて気づいた点をまとめる。
第12回	テーマ 内容	保育における発達援助(2) 就学に向けた支援
	授業外指示	<予習>教科書のpp.76~78を読む。 <復習>発達が気になる子どもの就学支援について学んだことをまとめる。
第13回	テーマ 内容	保育における発達援助(3) 就学相談・教育相談の流れ
	授業外指示	<予習>教科書のpp.78~79を読む。 <復習>保護者への支援について気づいた点をまとめる。
第14回	テーマ 内容	保育における発達援助(3) 家族支援 これまでの授業の振り返りとまとめ
	授業外指示	<予習>教科書のpp.84~89を読む。これまで学んだ内容を振り返る。 <復習>子どもの発達を促す保育者の関わりについて理解を深める。
第15回	テーマ 内容	個別な配慮が必要な子どもとその保護者への支援
	授業外指示	<予習>シラバスに書かれている到達目標について自己点検する。

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育の心理学Ⅱ	教員氏名	矢野由佳子
学年	1年	開講学期	後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士必修		
テーマ	子どもの心身の発達と保育実践について理解を深める		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	保育の心理学Ⅰの内容を踏まえて、より実践的に子どもの発達と保育者の役割について理解を深める。子ども同士のかかわりの広がりや、学びの過程で遊びが果たす役割、保育者の援助のポイントについて解説するとともに、発達援助について、ディスカッションやグループワークを行い理解を深める。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.子どもの心身の発達と保育実践を理解する。 2.生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する。 3.保育における発達援助を理解する。 		
テキスト	青木紀久代・矢野由佳子編『子どもとかかわる力を培う 実践・発達心理学ワークブック』みらい		
参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領		
	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	授業で使用したワーク・返却された小レポートをポートフォリオに綴ること。		
課題の確認と成績評価方法	授業内で実施する小レポート(20%) 14回目のレポート(70%) 授業への取り組み姿勢(10%)		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	保育の心理学Ⅰの内容を振り返り、この科目の概要・到達目標を確認する
	授業外指示	<予習>保育の心理学Ⅰの内容を復習する <復習>発達と保育実践について知りたいことを考える
第2回	テーマ 内容	ことばの発達過程を確認し、保育者の役割、ことばの発達の個人差の捉え方を知る
	授業外指示	<予習>テキスト第1部-1を読み、ことばの発達過程を確認する <復習>ことばの発達における保育者や大人の役割を確認する
第3回	テーマ 内容	社会性と情緒の発達を知り、保育者としての子どもとのかかわりについてグループワークを行う
	授業外指示	<予習>テキスト第1部-4を読み、情緒の発達過程を確認する <復習>様々な情緒を示す子どもを受けとめることについて考える
第4回	テーマ 内容	幼児期における知的発達の過程を知り、保育の工夫を考える①ピアジェの理論
	授業外指示	<予習>テキスト第2部-1を読み、子どもが数を数えられるのは何歳ごろなのか調べる <復習>ピアジェの発達理論を確認し、授業プリントを完成させる
第5回	テーマ 内容	幼児期における知的発達の過程を知り、保育の工夫を考える②ヴィゴツキーの理論
	授業外指示	<予習>保育における「見守り」とは何か考える <復習>ヴィゴツキーの発達理論を確認し、授業プリントを完成させる
第6回	テーマ 内容	学習理論を知り、保育の工夫についてグループワークを行う
	授業外指示	<予習>テキスト第2部-2を読み、「学習」という言葉の意味を調べる <復習>様々な学習理論を確認する
第7回	テーマ 内容	身辺自立と自己決定の関連を知り、保育におけるかかわりの工夫についてグループワークを行う
	授業外指示	<予習>テキスト第2部-3を読み、保育における、身辺自立にまつわる場面を考える <復習>身辺自立にまつわる保育者のかかわりを確認する
第8回	テーマ 内容	子どもの個人差、保育における配慮についてディスカッションを行う
	授業外指示	<予習>「個人差」とはどのような場面で見られるのか考える <復習>発達検査・知能検査について確認する
第9回	テーマ 内容	性格の形成について知り、私たちの性格について考え、ディスカッションを行う
	授業外指示	<予習>自分の性格とその成り立ちについて考える <復習>性格の捉え方について確認する

第10回	テーマ 内容	就学に向けた様々な支援を知り、小学校との連携を考える
	授業外指示	<p><予習>「小学生になること」でどのような心理的变化があるのか考え、自分の体験を小レポートにまとめる</p> <p><復習>就学相談・教育相談について確認する</p>
第11回	テーマ 内容	子育て支援をめぐる社会の動きを知り、保育者が行う家族支援を考える
	授業外指示	<p><予習>「子育て支援」という言葉の意味を調べる</p> <p><復習>主に保護者を対象とした相談支援の基本姿勢を確認する</p>
第12回	テーマ 内容	相談支援の基本姿勢を確認し、子どもの様子を保護者へ伝える際の工夫についてグループワークを行う
	授業外指示	<p><予習>「相談」に対してどのようなイメージを持っているか考える</p> <p><復習>肯定的に物事を伝える工夫を確認し、家族や友人に実践するフィールドワークを行い、小レポートにまとめる</p>
第13回	テーマ 内容	特別なニーズのある子どもに対する支援を知り、個別の支援の意義を考える
	授業外指示	<p><予習>保育における個別の支援とはどのようなものか考え、小レポートにまとめる</p> <p><復習>要配慮児へのかかわりの工夫を確認</p>
第14回	テーマ 内容	学習の振り返りと到達度合いの確認
	授業外指示	子どもの発達と保育者の関わりについて振り返り、理解したことを統括する
第15回	テーマ 内容	カウンセリングの基本姿勢を知り、保育者が行う相談支援についてグループワークを行う
	授業外指示	<p><予習>保育とカウンセリングの関連性を考える</p> <p><復習>カウンセリングマインドの意味を確認し、かかわりのイメージを持つ</p>